

刊行にあたって

「ひづめの音が聞こえたら、シマウマではなく馬だと思いなさい」

—When you hear hoofbeats, think of horses not zebras (Theodore Woodward) —
という有名な医学の格言があります。

これは「病気を診断する際には、稀な Rare Disease (シマウマ) ではなく、まず、確率の高い Common Disease (馬) から検討しなさい」という意味で、経験未熟な医者が、鑑別診断に最初から稀な疾患を挙げがちなことを戒めた言葉です。

前書『クイズで学ぶ口腔疾患123』の前文で書きましたが、大切なのは、正しく診断することより、診断へ至るプロセスであり、患者アウトカムです。もし、自分の診断に違和感を覚えたら、躊躇せず立ち止まって再考することです。最初の診断に固執して、漫然と放置して、患者に不利益を与えることは避けなくてはなりません。とくに悪性疾患はアウトカムに大きな影響を及ぼし、time-dependent に急速に進行する血液疾患、感染症は注意が必要です。

シマウマ探しにはまってはけません。しかしシマウマは確実に存在しており、忘れたころに現れることがあります。本書はクイズ形式なので、シマウマも多く取り上げています (馬が答えではクイズになりません)。忘れてはいけないシマウマを頭の片隅に留めておくためにも、本書は役立つものと思います。

循環器内科医の山下武志先生は、すべての医師のとり行動は、①自信をもって放置する、②自分で治療する、③専門医に紹介する、の3つに集約され、重要なのは、3つの行動の選択を誤らないことと述べています (『3秒で心電図を読む本』メディカルサイエンス社, 2012.)。

しかし、山下先生もおっしゃっているように、つねに正しい選択をすることは難しい。選択を誤ったとしても、患者アウトカムを悪化させないためには、自分の診断を過信せず誤りを反省・修正する謙虚さ、協力を求める勇気も必要だと考えています。

2025年3月

山城正司